

# 会 議 要 旨

|                   |                                                                                                                                                                                                                    |  |  |
|-------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|
| 会議の名称             | 令和7年度第2回川越市産業振興審議会                                                                                                                                                                                                 |  |  |
| 開催日時              | 令和7年8月28日（木）<br>午前10時00分 開会 ・ 午前11時30分 閉会                                                                                                                                                                          |  |  |
| 開催場所              | 7A会議室                                                                                                                                                                                                              |  |  |
| 議長<br>氏名          | 会長 新津 重幸                                                                                                                                                                                                           |  |  |
| 出席者（委員）<br>氏名（人数） | <div> <div>副会長 小谷野 和博</div> <div>委員 久米 勉</div> <div>委員 大原 健二</div> <div>委員 川目 慎介</div> <div>委員 増村 憲一郎</div> <div>委員 山中 亨</div> <div>委員 松山 潤</div> <div>委員 岩澤 嗣夫</div> <div>委員 村川 はつ枝</div> </div> <div>合計10人</div> |  |  |
| 欠席者（委員）<br>氏名（人数） | <div> <div>委員 竹澤 穰治</div> <div>委員 吉田 隆人</div> <div>委員 榎並 和良</div> <div>委員 新井 康夫</div> <div>委員 秋山 純</div> </div> <div>合計5人</div>                                                                                    |  |  |
| 事務局職員<br>氏名       | <div>産業観光部</div> <div>部長 岸野 泰之</div> <div>産業振興課</div> <div>副課長 倉本 隆志</div> <div>主査 前田 直樹</div> <div>副部長兼産業振興課長 飯野 英一</div> <div>副主幹 五味 弘企</div>                                                                    |  |  |
| 傍聴人（人数）           | なし                                                                                                                                                                                                                 |  |  |
| 会議次第              | 1 開 会<br>2 議 題<br>(1)次期「川越市産業振興ビジョン」の骨子(案)について<br>3 そ の 他<br>4 閉 会                                                                                                                                                 |  |  |
| 配布資料              | ○次第<br>○委員名簿<br>○次期川越市産業振興ビジョン 骨子（案）<br>○第2回川越市産業振興審議会 会議資料                                                                                                                                                        |  |  |

## 議 事 の 経 過

議事は、会議次第に沿って進行された。

「議題」について、事務局から説明後、出席者による討議が行われた。

討議の概要は、以下のとおり。

### ○ 議 題

#### Ⅰ 次期「川越市産業振興ビジョン」の骨子(案)について

事務局が資料に基づき説明。

#### [発言内容]

(会 長) 次期川越市産業振興ビジョンの骨子(案)については、事務局からの説明のとおり。

現在の課題等を踏まえて、忌憚のないご意見をいただきたい。

(委 員) 第5章の基本目標2について、「新たな産業の創出」と表現しているが、基本目標2の内容は、今はない産業をつくるということではないので、表現を改めた方がよいのではないか。

また、「企業誘致の推進」については、付加価値が高くて、多くの雇用を生むような企業を誘致するのが効果的であると考えるが、市として、企業誘致の方向性はどのようなになっているのか。

(事務局) 埼玉県計画における推奨産業に加え、化学工業や食料品製造業などの川越市の強みとなる産業分野を中心に、企業誘致に取り組んでいく。

(委 員) 工業の分野においては、トランプ関税により裾野の企業にとって大きな影響がある。融資でつなぐことも大切であるが、販路を拡大することが重要であるため、力を入れていただきたい。

また、川越商工会議所として、東京ビッグサイトで開催される、ものづくり企業の展示会への出展を予定している。販路拡大のための取組として、市の主導による大きな展示会への出展などについて検討いただきたい。

(委 員) 地元で働く若手が減っていることが、事業承継や企業の経営力向上に影響を与えていると感じている。若手の経営者の担い手を探すにあたっては、地域の人が川越にもっとお金を落とせるような町づくりにする必要がある。

(委 員) 猛暑の関係で、去年は通常の3割から4割売り上げが落ちたという話を聞いている。今後、猛暑はさらに進むと考えられる中、商業・農業・観光を含め、夜型にシフトしていくことも検討する必要があると考える。

また、「ワーク・ライフ・バランス」については、今後、仕事と生活を分けるのではなく両方依存し合っているという考え方である「ワーク・ライフ・ハーモニー」に変わっていくのではないか。

(会 長) 猛暑については大きな問題である。夜型にシフトするということは事業転換するということである。交通機関や就労の問題など、さまざまな課題があり、いまから検討が必要である。

(委員) 商店街の空き店舗について、空き店舗となった物件が住宅に変わっていき、店舗数の減少から商店街の存続が危ぶまれている状態である。また、求人しても希望者がいなく、人手不足も深刻である。

(委員) 基本目標１の基本施策２「商店街の活性化」と基本施策３「魅力ある商店街の形成」について、二つに分ける必要はないように感じられる。

また、基本目標２の基本施策３「販路開拓・拡大の推進」について、企業誘致や創業支援とは性質が違うため、基本目標１の方がよいのではと考える。

さらに、基本目標３の基本施策２「多様な働き方の支援」の中に、女性や高齢者、外国人を含めたダイバーシティという観点を入れたらよいと考える。

(委員) 中小・零細企業においては、新入社員の採用が非常に厳しい状況である。ベースアップや初任給引上げによる人件費の増加、働き方改革への対応など、従業員１人にかかる負荷が大きくなっている。外国人の雇用についても、会社の基盤を支える人材の確保は難しい状況である。

このような状況の中、中小・零細企業が今後１０年、２０年、３０年先を見たときに、DXは取り入れていかないといけない一方で、それには大きなコストを必要とする。中小・零細企業にDXを推進するため、DXの取り入れ方の情報提供やコスト面の補助をお願いしたい。

また、企業誘致について、工業団地内に新しい企業が入ったが、物流関係の倉庫が多く、従業員数がほとんどいない状態で、組合にも入らない。企業誘致にあたっては、製造業の誘致をご検討いただきたい。地元の方や工業高校の方の就職にもつながると考える。

(委員) 企業誘致について、スポーツ施設を整備することにより、スポーツチームを持つ企業の誘致がしやすくなるのではと考える。

(副会長) これからの卸売業には、大規模な物流センターを設置し、システム化によりできるだけ省力化した中で、ピッキングして出荷をするというようなことが求められている。それには、卸売団地の拡張用地が必要となるため、それも含めたかたちの産業振興ビジョンにしていきたい。

つぎに、川越市の商業を発展させていかなければいけないという観点から、基本目標１の基本施策２「商店街の活性化」の中での「大型商業施設との共存・共栄を推進します」について、丸広を中心にしたクレアモール商店街は、非常にうまく繁栄をしている一方で、郊外の大型のショッピングモール等に行っているケースも多いと感じている。このことから、大型商業施設を誘致した上で、その商業施設との共存をいかに図っていくかという考え方も必要なのではないかと考える。

また、人手不足について、川越市に住んでいる若者、川越市の学校に通学している若者が、都内も含めた市外に出て行ってしまうという問題があるため、いかに川越市内に就職してもらうかということが重要ではないかと感じている。それには、市内の大学との連携で、もっと市内の企業の魅力を発信して、そして地元就職をしてもらうような施策を講じていただきたい。

さらに、川越には留学生が大勢いるが、その留学生が日本で就職したいという希望が多くある。大学と市と地元企業で連携して、留学生も地元就職できるような

体制をつくることも必要ではないかと考える。

(会 長) 介護現場などでは外国人就労に頼っており、その就労比率が非常に高くなっているが、なかなか、定着しないということと、技能が上がらないという問題がある。日本人、外国人問わず就労者の育成支援が必要である。

○その他

(事務局) 第3回産業振興審議会は10月9日午後を予定している。